第13回総合アレルギー講習会　実習

実践皮膚アレルギーテスト：プリック、スクラッチテスト・パッチテスト

皮膚テストを学び、日々の診療に生かしませんか
原因を見極め、患者さん一人ひとりに合った指導につなげるために
実際に手を動かしながら、皮膚アレルギーテストの知識と手技を
学ぶ実習です。

今回は、プリックテスト実習をさらに充実させます
PFASや薬剤アレルギーを想定し、試料の調製から検査の進め方、
結果の読み方まで、実践的に学んでいただけます。

皮膚テストを学ぶ意義
病歴や血液検査だけでは判断に迷うとき、皮膚テストは原因を探る手がかりとなります。検査の適応と限界を理解し、結果を症状や曝露歴と照らし合わせることで、適切な回避や生活指導、再発予防につなげます。

01　プリックテスト
食物アレルギー・PFASや、薬剤による即時型反応を想定して学びます。
生鮮食品を用いたprick-to-prickの考え方と手技、薬剤などの固形試料の調製を実践。陽性・陰性対照を用いた検査の進め方から、膨疹の測定・判定までを体験します。あわせて、薬剤ごとの検査の適応や試験濃度の考え方、安全管理のポイントも確認します。





02　パッチテスト
接触皮膚炎の原因を探り、再発予防につなげるパッチテストを学びます。
試料の貼付を実践し、反応写真を用いて判定を練習します。
アレルギー反応と刺激反応を見分けるポイントや、陽性所見と実際の曝露との関連についても、わかりやすく解説します。





専門医に、その場で質問できる実習です
材料や試料を実際に扱いながら、手技のコツや日常診療での疑問を専門医に直接ご質問いただけます。
これから皮膚テストを始めたい先生も、手技や判定を改めて確認したい先生も、ぜひご参加ください。

日々の診療に生かせる学びを、ご一緒に深められれば幸いです。
先生方のご参加を、心よりお待ちしております。

適応の判断から実施・判定まで、両検査を一度に学べます。

とてもわかりやすかったです。明日からの診療で試してみようと思いました

自身を被験者として流れを体験できてよかったです

楽しく勉強出来ました。ありがとうございました

パッチテストやプリックテストを実践できてよかったです

教えていただきながら実践できてとても良かったです

これまでに本実習に参加された先生方のご感想



VOICE



自分のプリックテストが強すぎることが分かって愕然としました。明日からすぐできるような気持ちになる素晴らしい実習でした

希釈系列を実際に作成するプロセスを体験でき、苦手意識を軽減する事が出来ました

実際の検査器具や試薬を使うことで、検査の手法をしっかり理解することができました。とても勉強になる実習でした

日常診療に活用出来ればと思い参加させて頂きました。手技や基本的な考えを理解出来たと思います

実際に行ってはいなかったので、今後行っていこうと思えました